第10回スマートグリッド特別研究グループ　議事録

【日 時】平成24年3月22日（木）12：00～12：30

【場 所 】広島工業大学

【出席者】仁田旦三(主査・元会長),山本俊二(幹事・元副会長),池田久利(委員・研究経営副会長),
長尾雅行(委員・A 部門),浅野浩志(委員・B 部門),芹澤善積(委員・C 部門),
森直子(委員・C 部門),川上紀子(委員・D 部門)，舟橋俊久(委員・D 部門),
柴﨑一郎(委員・E 部門)，沖健志朗(標準化推進室長)，田中康治（標準化推進室）
里周二（宇都宮大学）

【配付資料】

（資料 SG-10-1）　　第 9 回ｽﾏｰﾄｸﾞﾘｯﾄﾞ特別研究ｸﾞﾙｰﾌﾟ議事録（案）

【議事】

１．主査挨拶

仁田主査より、シンポジウムでの各位のアクションへの謝辞と、今回オブザーバ参加された方に対し特別研究グループへの参加協力要請があった。

２．第9回議事録確認（資料SG-10-1）

山本幹事より、前回議事録（案）を説明、一部修正し承認された。

３．電気学会全国大会シンポジウムの実施内容確認

（１）3/22、この特別研究グループ主体の電気学会全国大会シンポジウム『スマートグリッド特別研究グループの活動報告』を実施した。会場には 100 名近い方々の参加があり、関心の高さを改めて感じた。

（２）主査および各委員より、活動の全体あるいは担当部分を詳細に説明した。

主な議論は、計測精度についての詳細検討の必要性、Ａ部門で新設のスマートグリッドにおける計量トレーサビリティー調査専門委員会への部門を越えた案内、スマートグリッドには制度と信頼性の両面の検討が必要とのコメント、他学会との情報共有の必要性、ＩＥＣ規格に関するコメントなどである。

４．今後の運営について

（１）各部門別の活動状況と、全国大会シンポジウムでの会場の反応等を勘案して今後の方向を決めていく。

（２）次回、第 11 回スマートグリッド特別研究グループ　委員会
2012/6/7、13：30－16：30　日本交通協会。

以上